



4月28日、総合福祉センターで行われた結成式



総社市自由枠交付金
地域づくり協議会連合会
発足！！

地域で考え、特色のあるまちづくりを行うため、地域づくり協議会の連合会が4月28日に発足。各協議会同士の交流と結束を深める、貴重な場となります。

問い合わせ 人権・まちづくり課国際・交流推進係（☎⑨242）

地域づくり一括交付金
制度が4月より市内全17地区でスタートしました。これを機に各協議会同士の交流と結束を深め、同制度を充実させることを目的に、地域づくり協議会の連合会が発足。4月28日に総合福祉センターで結成式が行われました。

同式には、市長をはじめ、各地区の代表者17人が出席。連合会の名称を「総社市自由枠交付金地域づくり協議会連合会」に決定しました。また、神在コミュニティ協議会の平松秀昭会長が同連合会の会長に選任。平松会長は、「各地区との連携を強化し、よりよいまちづくりに努めたい」と話

名称を変更します

各地区の代表者からの意見を踏まえ、一括交付金制度の名称を変更します。

総社市地域づくり
一括交付金制度

↓
総社市地域づくり
自由枠交付金制度

継続する震災復興への思い 走って感じる 仙台との絆

「そうじゃ・宮城っ子基金」の支援を縁に、市は仙台市と平成25年6月、両市が開催するマラソン大会を通じて交流しようと、マラソン連携協定を締結。この協定により、5月10日に仙台市で開催された仙台国際ハーフマラソン大会に、市長をはじめ総社西中学校の3年生4人が招待され、新緑の杜の都仙台を駆け抜けました。

総社西中の生徒は2kmコースを、市長はハーフマラソンを仙台の景色を楽しみながら完走。西山佳奈さんは、「温かいエールをもらいながら緑のなかを走り、とても気持ちよかったです」と感想を述べました。

また、協定を縁にそうじゃ吉備路マラソンを走った生徒のいる仙台市立六郷中学校を、総社西中の生徒が訪問。震災時の様子や震災から5年経った現在の状況などを聞き、継続的な支援の大切さを実感していました。

今後もマラソンを通じて、両市の交流を深め、子どもの元気につながればと願っています。



マラソンに参加した総社西中の森琉星さん、宮本智也さん、西山佳奈さん、因幡柚葉さん（写真左から）



仙台市立六郷中学校を訪問し、交流を深めた



観

レトロバスで名所巡り

高梁市が所有するボンネットバスを活用し、両市の観光地などを巡るツアー、「方谷と雪舟をつなぐ タイムスリップ・ぼんねっとバス」が、4月29日に開催されました。

15人の参加者は、井山宝福寺や備中松山城など計4カ所の歴史ロマン溢れる観光地をレトロなボンネットバスに揺られながら巡りました。井山宝福寺では、住職の案内で方丈を見学、備中松山城では二重櫓の公開など、普段では体験できない内容が盛り込まれており、15人の参加者はツアーを満喫していました。

今後も年に4回、ツアーを実施する予定です。

問い合わせ 商工観光課観光プロジェクト係（☎⑨277）



レトロなバスに揺られ、美しい高梁川を眺める



備中松山城の壮麗な風景に見入る



井山宝福寺を散策

高梁市との連携事業

観光・産業分野を盛り上げる



総社市と高梁市は、2月18日に締結した、「高梁市と総社市との連携協力に関する協定」に基づき、観光・産業分野において、連携事業を行いました。

今後も両市が手を取り合い、多様なニーズに対応し、互いの課題を解決していくことが期待されます。

高梁市産の野菜販売開始

市内のスーパーにある総社市産農作物の直売所「地食べ」コーナーで、高梁市産農作物が5月13日から販売開始。豊かな自然のなかで育った、新鮮なキュウリやトマトなどが店頭に並びました。

今後は、障がい者就労施設で作られた野菜なども仕入れ、高梁市産農作物の品数を増やし、「地食べ」コーナーで販売。端境期の品薄を解消する効果が見込まれます。

問い合わせ 農林課地食べ係（☎⑨273）



5月13日に行われたオープニングセレモニー



多くの買い物客でにぎわう

産